

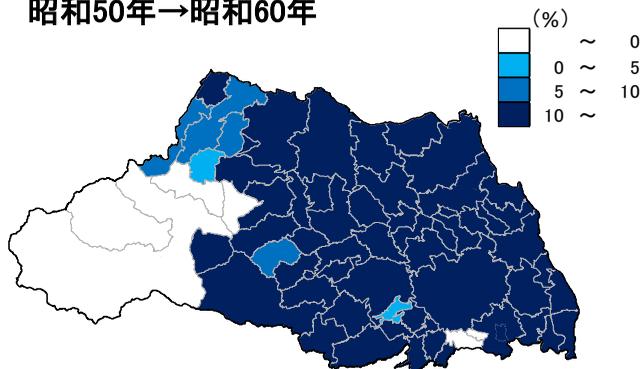
■ 令和27年(2045年)にはほぼ全市町村の人口増減率がマイナスとなる

昭和50年からの10年ごとの人口増減率をみると、平成7年までは多くの市町村の人口が10%以上のプラスとなっていました。昭和50年からの10年ごとの人口増減率をみると、平成7年までは多くの市町村の人口が10%以上のプラスとなっていました。昭和50年からの10年ごとの人口増減率をみると、平成7年までは多くの市町村の人口が10%以上のプラスとなっていました。

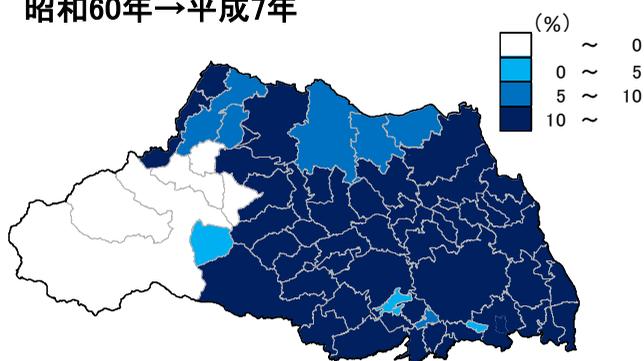
さらに、平成27年から10年ごとの将来推計による人口増減率をみると、令和17年(2035年)には55市町村がマイナスとなり、令和27年(2045年)には戸田市と吉川市を除く61市町村がマイナスになると見込まれています。

〔昭和50年～現在〕

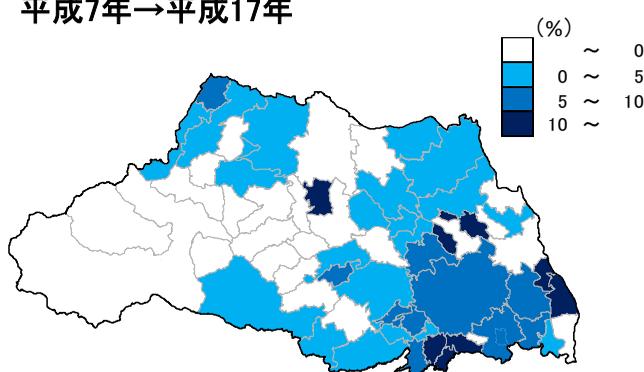
昭和50年→昭和60年



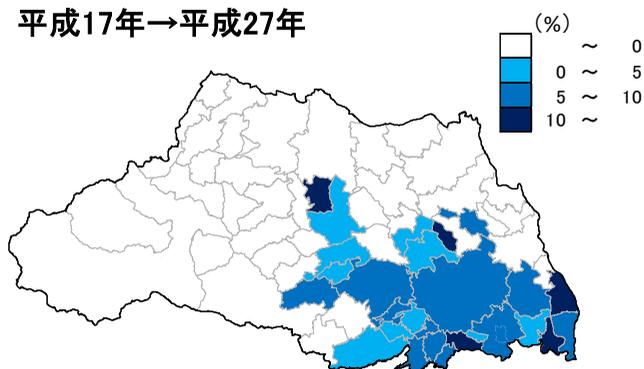
昭和60年→平成7年



平成7年→平成17年



平成17年→平成27年



〔現在～令和27年〕

平成27年→令和7年



令和7年→令和17年



令和17年→令和27年



注) 各年10月1日現在

資料: 以下の資料から加工して作成

- 昭和50年～平成27年
県統計課「埼玉県推計人口」
- 平成27年～令和27年将来推計
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」